

## 注目の新設校インタビュー

### 川崎市立川崎高等学校附属中学校

お話 川崎市教育委員会 総務部教育改革推進担当  
中高一貫教育校開設準備担当課長 和泉田政徳先生  
高校改革担当課長 阿部 敏 先生



左 和泉田先生 右 阿部先生

編集部 よろしくお願いたします。早速ですが、川崎市で中高一貫教育を始めようとお考えになったきっかけからお聞かせください。

阿部 中高一貫教育が制度化されて、公立でも6年間継続的に教育を行なうことができるようになりました。本市における中等教育全体の多様化を進め、特色ある魅力的な学校づくりの推進及び教育内容の改善・充実を目指す観点から、中高一貫教育を導入することとしました。

編集部 川崎市立の高校は市立川崎高校だけでなく他にもありますが、その中で市立川崎高校に中高一貫教育を導入する理由は何でしょうか。

阿部 併設する中学校の設置など、生徒にとって学びやすい環境づくりには、改築を伴う大規模な教育施設の整備が必要となります。市立高校の中では、耐震性の問題に加えて、目に見えて老朽化が著しい川崎高校を優先して改築することを検討し、この改築に合わせた中高一貫教育の導入などを含む市立高校の再編計画を決定しました。

編集部 川崎高校の特徴は何でしょうか。

阿部 市立川崎高校には、普通科だけでなく生活科学科と福祉科が併設されています。さらに来年度からは、これまでの夜の時間帯に加え、昼の時間帯にも授業を行う二部制定時制もスタートします。それぞれ、専門的な勉強をしたい生徒、自分のペースに合った時間帯で勉強したい生徒、といった様々な生徒たちが生活します。日常的にこうした様々な生徒たちと身近で学びあえることは、様々な人間関係を作る上で大切です。川崎高校の学校教育目標「こころ豊かな人になろう」の具現化につながると考えます。

編集部 新設の中学校からは全日制の普通科だけで

なく、専門学科や二部制定時制への内部進学も考えているのでしょうか。

阿部 学校生活はともに過ごしますが、中高一貫の教育課程を編成するのは中学校と全日制普通科になります。現在、全日制普通科は4クラスとなっていますが、附属中学校1期生が高校に進学するときから、公立高校入試での募集は1クラスになり、高校からの入学生は高2より一緒のクラスとします。

編集部 中学生は何名募集ですか。

阿部 3クラス 120名募集です。

編集部 神奈川県の中高一貫校は、県立の相模原、平塚が高校募集のない中等教育学校、横浜市立南高校附属は高校募集がある併設型ですが、市立川崎高校附属も併設型になるわけですね。

阿部 はい。母体校となる川崎高校には、普通科とともに専門学科が併設されていること、高等学校段階からの入学者の受け入れが互いに刺激を与えることで相乗効果が期待できるとともに、学校全体の新鮮さと活力につながると考え、本市では併設型としました。

編集部 市立川崎での中高一貫教育の目標をご紹介ください。

和泉田 夢を実現するためには自ら行動することが必要です。今の若い人たちを見ていると、背中を押してあげれば動ける人は多いと思いますが、もっと自分から動いてほしいと感じます。未来はどのような社会になるかわかりません。どのような社会でも夢を求めて自分から動くことができる、行動力を持った人を育てることが目標です。

編集部 教育内容の特色をお聞かせください。

和泉田 キーワードは「体験・探究」「ICT活用」「英語・国際理解」です。川崎市には国や企業、大

学などの研究・開発施設も多いですから、自分を高めるための様々な体験や、関心があることを深めていく探究活動が身近でできます。こうした活動で課題を発見し、みんなと協働して解決する力を育みます。

編集部 「ICT活用」「英語・国際理解」についてもお願いします。

和泉田 どちらも時代から求められている力です。ICTについては、電子黒板機能付きのプロジェクターを教室に設置します。デジタル教材だけでなく、異なる資料を同時に提示して違いを考えさせるなど、思考力を高めます。無線LANも装備し、情報のやりとりをしながら学習を進めることができます。英語についてはイングリッシュキャンプや英語学習発表会などで英語コミュニケーション能力を高めるほか、異文化交流に積極的に取り組んでグローバル社会に対応する力を身につけます。

編集部 6年間の流れはどのようになっていますか。

和泉田 6年間で2学年ごとのまとまりに分け、3つの指導区分を設定します。中1・中2の2年間は定着期、中3・高1の2年間は充実期、高2・高3は発展期と位置づけています。定着期では学習の基礎・基本をしっかり定着させます。また、総合的な学習の時間では、「学び方」の基礎を身につけるとともに、心の教育として、川崎市全体で取り組んでいる共生・共育にも力を入れていき、人間関係の基盤をつくります。

編集部 充実期についてはいかがでしょうか。

和泉田 各教科の発展的学習に力を入れるだけでなく、自己実現に向けての探究活動に力点を置きます。川崎の人・文化・科学・産業などをテーマとして探究する中で、よりよい社会の在り方や生き方を考える教育を展開します。

編集部 発展期はどのようになるのでしょうか。

和泉田 自己実現に向けて挑戦する時期です。より深く学び続けたい分野を見つけ、夢の実現、一人ひとりの自己実現に向けて努力します。文系・理系に分かれ、目標の進路に合わせた学習となります。

編集部 自己実現の目標は大学合格ですか。

和泉田 大学に限らず、他の選択でも構わないと思いますが、進学を希望する生徒は多いと思いますし、

教員は生徒一人ひとりの夢の実現に向けて精いっぱいの後押しをします。

編集部 他の公立一貫校では、難関大学の受験色をもっと強く打ち出している学校もありますが、

和泉田 承知しています。私たちも生徒の希望に全力で対応します。教科だけでなく生徒自身の目的意識の育成や、大学あるいは社会に出てから十分に力を発揮できる力量を身につけることができるよう教育を行います。



(現在、新校舎を建設中)

編集部 校舎に特徴があるとうかがいました。

和泉田 中1・中2は、従来型でホームルーム教室・特別教室で学習しますが、中3からは教科センター方式を実施します。これは理科の実験とか、音楽などだけでなく、すべての教科に専用教室を用意し、生徒たちは毎時間、それぞれの教科教室に移動して学習する仕組みです。生徒たちが自分から移動することで、自主的に学ぼうとする姿勢を育てます。教科教室の近くにはメディアスペースを設置して、教科に関する資料を生徒たちが進んで利用することができるようにします。

編集部 生徒たちのロッカーなどは教室に置かないのですか。

和泉田 教科教室とは別に、ホームベースと呼ぶ、教室の三分の二くらいの生徒の生活拠点を、クラス単位で作ります。ここにロッカーなどを配置します。この近くにはステージ教員ステーションを、教科教室近くには教科の教員ステーションを配置、教員がいつでも生徒のそばにいる環境を作ります。また、体育館の上にテニスコートを設置するなど、体育施設も充実しています。

編集部 今度は生活面についてうかがいます。1日の時間割はどうなっていますか。

和泉田 45分授業×7校時です。現在のところ、土曜日には正規の授業は組みません。1時間目の前に朝学習として読書やe-ラーニングを、放課後にもe-ラーニングを実施します。復習や計算・漢字・英単語の練習などに積極的に活用していきます。

編集部 部活動は中高で別になるのでしょうか。

和泉田 中学生と高校生とでは体力面も違いますし、コートや広さなどの規格が違うスポーツもあります。現在の川崎高校の部活動となるべく一緒に行いたいと思っています。ただ、1期生では、生徒たちが分散してどの部も中学生が5~6名しかいないことになると、大会に出場するためのチームも組みなくなり、生徒たちの興味・関心の状況を踏まえて柔軟に対応していきます。

編集部 体育祭や文化祭なども中高一緒ですか。

和泉田 部活動や行事等での異年齢集団での活動は大切ですから、できるだけ一緒に活動します。

編集部 昼食はお弁当でしょうか。

和泉田 ランチサービスも実施しますが、なるべくお弁当でお願いしたいと思っています。

編集部 通学についてもうかがいます。電車・バス利用だけでなく、自転車通学も構いませんか。

和泉田 いいえ。中学生は安全面を考えて自転車は認めません。川崎駅まで電車で通学する生徒は、駅前からバスに乗っていただきます。

編集部 一昨年以来、地震対策が課題になっています。当然、新校舎の耐震と備蓄については万全だと思いますが、登下校の途上で地震が起きた場合については、何か対策があるのでしょうか。

和泉田 地震が起きて電車などがストップした場合でも、川崎市立の学校が市内全域にありますから、最寄の学校に保護を求めることができます。この点は安心できることだと思います。

編集部 では入学者の募集及び決定についてうかがいます。通学区域は川崎市内ですね。

和泉田 はい。学区外枠は設けません。川崎市内に保護者とともに在住か、川崎市内に転居予定であれば出願できます。市内は全域出願できます。

編集部 入学者決定の方法はどのようになるのでしょうか。

和泉田 作文を含めた適性検査、志願者本人の面接、小学校からの調査書の3点を活用して総合的な選考により入学者を決定します。活用比率は、平成26年度については作文を含めた適性検査7割、面接が2割、調査書が1割です。

編集部 適性検査の問題は県立の中等教育学校と共通でしょうか。

和泉田 学習指導要領に基づいた、基礎的・基本的な知識や技能を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力等を総合的に見ることができ、本市独自の検査問題を作成します。

編集部 既に昨年から説明会が始まっていますが、保護者の方の関心はいかがでしょうか。

和泉田 昨年開催した説明会では、各回合計で2,760名の参加がありました。皆さん、熱心に説明を聞いていただきまして、地元の川崎区や幸区、中原区の方が多かったですが、多摩区や麻生区など、市内の全域から参加していただきました。

編集部 関心が高いですね。では最後に、受検を考える皆さん、保護者の皆様にメッセージをお願いします。

和泉田 この学校の3つの柱「体験・探究」「ICT活用」「英語・国際理解」のそれぞれに、特に興味を感じる皆さんは、ぜひ志願してください。充実した施設、高度な教育力を持つ先生方が皆さんを待っています。6年間皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。

編集部 ありがとうございました。

川崎市立川崎高等学校附属中学校 交通案内 京急大師線港町駅より徒歩10分、JR川崎駅東口よりバス水江町行・塩浜行・扇町行・塩浜営業所前行・小田栄循環「市立川崎高校前」下車(所要10~15分)

学校説明会 7/31(水)、8/2(金)、8/3(土)各川崎市教育文化会館大ホール

志願説明会 11/1(金)、11/2日(土)各川崎市教育文化会館大ホール、11/3(日)高津市民館

説明会の時間帯や申込み方法など、詳細は今後発表されます。